

# カンボジア通信

第7号 2006年 10月20日 発行  
河合塾社会貢献事務局 経営企画部内  
河合塾カンボジア教育支援グループ  
編集: 西川洋平 (教育研究部)



河合塾のカンボジア募金で、今年もカンボジア-日本友好学園の生徒3名を招聘しました。来日したのは、(写真左から)サルン君(17才)、ソピア君(17才)、ソッヘンさん(15才)。8/24~9/3の11日間、福岡・東京の2地区とその周辺を訪問しました。今回はその一部と8月に現地を訪れたスタッフの滞在記を中心にお届けします。

## \*初めての海! 海水浴場~白糸の滝~水族館\* 8/25(金)~26(土)

カンボジアはタイ湾に面する一部地域しか海に面しておらず、生徒達は海を見るのは今回が初めてでした。当初は水遊び程度で計画していましたが、水遊びを始めたのもつかの間、サルン君とソピア君は服を脱ぎ泳ぎ始め、30分ほどですが、思う存分楽しんでいました。ソッヘンさんは水着がないため泳げずに残念がっていましたが、キレイな貝殻を探したり海辺の雰囲気を楽しんでいました。

白糸の滝では、流れ落ちる水の迫力と清流の美しさに故郷との違いを感じ取っていたようです。故郷のメコン川は非常に大きな川ですが、水は濁っており美しいとは言えませんので、そういった、自然環境の違いにも興味を抱いていました。

九州で過ごす3日目は高速船でマリンワールド海の中道へ。

前日に海を初体験した生徒達は、慣れ親しんだメコン川とは全く異なる海の生物に興味津々。本でしか読んだことがなかったサメやエイはもちろん、深海生物やクリオネなどの小生物に見入っていました。

ただ、やはり一番楽しんでいたのはイルカとラッコのショーで、特にラッコの赤ちゃんのかわいらしさは印象に残ったようです。(メディア教育開発部・東平)



## \*日本の伝統文化「書道」を楽しむ\* 8/26(土)

整然と用意された書道具と和服姿の先生を前に3人は少し緊張気味! 硯に注がれた墨汁の香りもとても新鮮に感じたようです。「ムオイ(いち)で筆を入れ、ムオイ(いち)・ビー(に)・パイ(さん)で筆を止める!」先生がクメール語をまじえながら楽しくご指導くださると3人の緊張もだんだん和らぎ、一番先に先生から花マル(good)をもらったソッヘンさんの腕前は、



先生が弟子にしたいと絶賛するほどでした。うれしそうなソッヘンさん、それを見て、更にやる気になったソピア君とサルン君が印象的でした。

何枚かあるお手本の中からソピア君は「夢」、サルン君は「光」、ソッヘンさんは「和」という字を選びました。彼らの書には、「夢」は持ち続ければいつかは叶うという思い、「光」(知識)は道を拓くのでたくさん勉強して「光」で未来を照らしたいという思い、カンボジアの平「和」を願っているという特別な思いが込められています。

たった30分ほどの練習だったにもかかわらず、まっすぐ素直な心までも伝わってくるような素晴らしい書を描いた3人の集中力にとっても感動しました。(福岡校・中島)



## \*鎌倉~湘南紀行\* 9/1(金)

天気は朝から快晴。午前10時、閑静な雰囲気の北鎌倉駅にサルン君・ソッヘンさん・ソピア君の3人は降り立ち、「いざ鎌倉! ~湘南小旅行」は始まりました。

最初に訪れたのは、北条氏ゆかりの円覚寺。日本史の石川先生の明快な説明を3人ともし生懸命メモをとっていました。続いて鶴岡八幡宮。境内でラムネをご馳走してもらいましたが、ビー玉を瓶の凸に引っ掛けるラムネ独特の飲み方を教わった頃にはみんな飲み終わってました。境内にはシンボルの鳩がたくさんいましたが、寄ってくるのが楽しいのか3人ともし鯉の餌をお裾分けしてました。身近な生物を前にして、みんな少づつリラックスしてきた感じでした。

大仏見物の後、昼食をはさんで江ノ島へ。行きはエスカレーターで一気に展望台へ。帰りは洞窟巡りから岩場に降りての散策、サルン君が海辺を歩きながら歌を歌ってくれて、ソピア君が合いの手をうって、歌詞はわかりませんが、何故か日頃の疲れが癒されていくような気持ちにさせてくれる歌でした。

その後、階段を登ったり降りたり連続でしたが疲れも見せず、最後はカキ氷を食べて、とにかく笑顔に満ちた楽しく心地よい1日でした。(ファシリティ部・坂下)



# カンボジアの生徒達に会ってきました ～2006夏！

## 友好学園生の「高校卒業試験」レポート



8月7日は卒業試験の日でした。卒業試験は12年生(日本の高校3年生に相当)を対象に行われます。昨年度、友好学園の生徒達は一期生ながら32.2%が合格と大健闘しました。今年からは国語(クメール語)・数学・物理・化学・生物・地学・歴史・地理・道徳・総合問題(客観式)に新たに英語も加わり、全11科目にわたって行われました。

この成績によって大学の入学も決まるので、試験会場の前では、卒業生達も心配そうに待っていました。9月初旬、3人の日本滞在中に届いた今年の試験結果は何と60.6%が合格!みんな本当に良く頑張りました!卒業&進学おめでとうございます。

## 友好学園の卒業生達は今・・・

友好学園には奨学金制度がありますが、生活は厳しく、皆アルバイトをしています。中でも卒業生の多くが働いているのが「京都日本語センター」。ここで高校生や社会人を対象に、カードを使うなど工夫しながら日本語を教えています。

8月12日は国立法律経済大学の進級試験発表の日でした。試験結果の張り出された掲示板に見入って自分の名前を確認する生徒達。勉強や生活に必死で取り組んでいる第一期生との懇親会では各々の夢を語り合ったりし、楽しい時を過ごしました。(ドルトン・伊藤)



## チョットいい話 新宿校で感動の対面

新宿校では2005年4月の開校以来、講師室スタッフ・山崎阿佐美さんを中心に、授業で使った後の短くなったチョークを集めて、カンボジアに送っていただいているのですが、実際にそのチョークを使って勉強しているカンボジアの生徒達と、新宿校スタッフとの感動の対面が実現しました。

生徒達はいつもチョークを送ってくれている山崎さんに逢えてとてもうれしそうで、ソッヘンさんは「カンボジアのチョークは固くて板書していてもすぐ折れるので、本当にありがたいです」。山崎さんも「実際に会ったら、礼儀正しいし、真面目で知的な印象でした。逢えただけでもうれしいのにお礼まで言ってもらえてホントに夢のよう。体が震える思いでした!」と感激されていた様子。

「新宿校では、使えなくなったチョークをきれいに拭いて割れないように梱包し倉庫で保管しています。チョーク以外にも使えなくなった鉛筆や消しゴム、生徒達からの寄付、レポート用紙の忘れ物は白い部分を集めてメモ帳に加工しています。チョークだけでダンボール6～7箱と重いので、支援物資の発送予定日に合わせて校舎スタッフの皆さんに協力してもらっています!」とのこと。

平戸校舎長の呼びかけでスタートした新宿校スタッフの「優しさ」が、思いがけない感動の対面を演出することになりました。(教育研究部・西川)



<物資輸送支援 - 3月> 2005年度は皆さまから提供いただいた文房具をはじめ、河合塾校舎の改修や寮の閉鎖に伴い、余剰となった生徒用机、イス、会議テーブル、キャビネットや黒板など、昨年を上回るたくさんの支援物資を送ることができました。皆さま、ご支援ありがとうございます。これらの物資はコンテナに目一杯詰め込まれて名古屋港からシンガポール経由でカンボジア南西部のシアヌークビル港に到着。現地での陸路輸送と仕分け作業を終え、カンボジアの生徒達が学ぶ教室に、無事届けられました。

【会計報告】	2006年度 年間募金収入	1,040,294 円	前期(06.4-9)募金額	524,335 円
<生徒招聘(3名+通訳)>	渡航費、滞在費など	598,935 円	生徒招聘残金	441,359 円
(内訳:カンパ収入 62千円 総支出660千円)	残金	441,359 円	募金残額計	965,694 円

～ 募金のご協力ありがとうございました。今後もよろしくお願い致します。～



「携帯電話の普及率は世界一?」  
首都プノンペンやアンコールワットのあるシェムリアップなど一部の都市を除くと、カンボジアでは道路・電気・電話・水道などのインフラが全くといっていいほど整っていません。  
そんな開発途上国のカンボジアに意外な事実があります。あるデータによるとカンボジアは、1999年に世界で初めて、携帯電話の加入者数が固定電話を抜いた国になったそうです。つまり、「固定電話に対する携帯電話の普及率が世界一」ということ。これは固定電話がほとんど普及していないということの裏返しなんです。  
確かに、日本から携帯電話を持っていても、友好学園のあるプレイベン州リング村では通話できません(海外ローミングの設定が必要)。電気もない村に電波が届く理由は、のどかな雰囲気には違和感のある巨大なアンテナの鉄塔(写真)。携帯電話会社による、世界のグローバル化はこんなところでも実感できます。  
殆どのカンボジアの人達は、銀行口座を持っていないため、プリペイド方式の携帯電話が主流です。最低5ドルでスクラッチカードを購入し、削って出てきた番号を入力すれば、使えるというプリペイド方式。5ドルといえばカンボジア人にとっては結構な金額なので、ほとんど着信専用となっているようで、電話をかけた時は道路わきや市場にある小さな半透明なブースが目印の電話屋さんに、掛けたい電話番号を言ってかけてもらいます。料金は1分間で1000～4000リエル(1ドル=約4000リエル)とが。

現代カンボジア事情 「携帯電話」